

ヲ認メザルニ由リ此ノ儘之ヲ可決セラレ然ルベシト思
料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和二十年六月二十九日

書記官長

議長宛

昭和二十年八月二十四日立案

主筆

書記官

書記官長

書記官

各省官制通則中改正ノ件外四件
審査報告

(別紙ノ通り)

各省官制通則中改正ノ件外四件審査報告

謹テ今回御諮詢ノ各省官制通則中改正ノ件外務

省官制中改正ノ件、農商省官制中改正ノ件、商工省

官制、大東亞省官制及軍需省官制廢止ノ件ヲ審査

スルニ當局ノ説明ニ依リハ大東亞戰爭ノ今般畏クモ 聖慮ヲ

以テ非常ノ措置ニ依リ終結ニ導キカルルコトト爲リ今後政
 府ニ於テハ「ポツダム」宣言ノ條項ヲ履行スルト共ニ急速
 ナル國內諸般ノ復興ニ全カラ傾注スベキコトト爲レル
 ガ斯ル事態ニ對處シ敏速ニ諸種ノ施策ヲ實施セシ
 ガ爲ニハ從前戰爭完遂ヲ目途トシ編成運營シ來レル
 官廳機構ハ速ニ之ヲ新事態ニ即應スル體制ニ改編

スルノ要アリ而シテ^{帝國ノシテ今ヤ}此ノ未曾有ノ苛烈ナル大試

鍊ニ耐ヘ忍ブノ^{ニシテ}シオラズ更ニ進ニテ之ヲ克服シ世界ノ

進展ニ^{帝國ノ}進レザル新日本建設ノ礎石タラシメンガ爲ニハ

根本的ニ施策ノ方向ヲ決定シ之ニ應ズルノ體制ヲ以テ

臨ムベキコト言フ俟タザル所ナルガ既ニ聯合國軍ノ本土

進駐ヲ目前ニ控ヘ此ノ際急速ニ官廳機構ノ全面ニ互

リ根本的變改ヲ加フルコト不可能ナルニ由リ政府ニ於テ
 取敢ズ必要ナル最少限度ノ改革ヲ斷行シ速ニ富面ノ
 新事態ニ備フルニ體制ヲ整備スルコトトシ茲ニ本案ノ
 諸件ヲ以テ大東亞及軍需ノ兩省ヲ廢止スルト共ニ
 商工省ヲ新設セントス次ニ本案各件ノ要旨ヲ説明ス
 レバ左ノ如シ

（此處ニ外務及農商ノ兩省ノ改編ヲ示サ）

第一 各省官制通則中改正ノ件

本件ハ商工省ノ新設、農商省ノ改稱、大東亞軍需
 兩省ノ廢止ニ伴ヒ各省官制通則中ニ所要ノ改正ヲ
 施サントスルモノナリ

第二 外務省官制中改正ノ件

本件ハ大東亞省ヲ廢止シ其ノ所管事務ノ大部分ヲ

外務省ニ移管セシガ爲同省官制ニ所要ノ改正ヲ施
 スコトヲ主眼トスルモノニシテ(一)外務大臣ノ管理事務
 中ニ商工大臣ニ移管スル交易關係ノ事務ヲ除ク總
 テノ大東亞大臣所管事務ヲ加ヘ(第一條及附則第二項)(二)從
 前外務省ニ大臣官房ノ外四局ヲ置キタルヲ今也五局ヲ
 置クコトトシ新ニ管理局ヲ設置スルト共ニ從前

ノ戰時經濟局ハ之ヲ經濟局ト改メ(第四條)(三)管理局

ニ於テハ關東局及南洋廳ニ關スル事務並ニ外務大

臣ノ指定スル地域ニ於ケル在留帝國臣民及諸施設

ニ關スル事務其ノ他同地域ニ係ル事務ニシテ外務

大臣ノ指定スルモノヲ掌ラシムルコトトシ反同局ニ參

事官ヲ以テ部長ニ充ツル部ヲ置クコトヲ得ルモノ

トシ並ニ經濟局ノ所掌事務ヲ改メ(第四條第二項第七條及新第十條)

(四) 同省ニ勅任ノ參事官專任四人ヲ置キ其ノ職掌ヲ

定メ及書記官以下ノ職員ノ定員ヲ增加セシ(第三條、新第十條)

一條乃至第十四條及第十五條乃至第十八條トスルモノナリ

第三 農商省官制中改正ノ件

本件ハ商工省ノ新設ニ伴ヒ農商省官制中ニ所要ノ改

正ヲ施サントスルモノニシテ(一) 農商省ノ名稱ヲ農林省

ト改メ(二) 農商大臣ノ管理事務中ヨリ商工大臣ノ管理

ニ移ス事務ヲ削除シ(第一條)(三) 纖維局ヲ蠶絲局ニ生

活物資局ヲ食品局ニ夫々改稱スルト共ニ其ノ所掌

事務ヲ改メ(第三條、第九條)(四)書記官以下ノ職員ノ定

員ヲ減少スルコトヲ(第十三條、第十四條、第十七條)主眼

トスルモノナリ

第四 商工省官制

本件ハ概ネ大東亞戰爭勃發前ノ商工省官制ニ復ス
ルコトヲ目途トスルモノニシテ其ノ内容ヲ説明スレバ

次ノ如シ

(一)商工大臣ハ商工、鑛山、電氣及發電水力、度量衡
及計量並ニアルコイル及石油ノ專賣ニ關スル事務

ヲ管理ス(第一條)

(二)商工省ニ總務、商務、工務、纖維、鑛山、燃料及電

力ノ七局ヲ置キ(第二條)總務局ニ於テハ所管行

政ノ企畫及綜合調整ニ關スル事務並ニ他ノ主管
 ニ屬セザル事務ヲ、商務局ニ於テハ商一般及配
 給一般ニ關スル事務、交易及交易ニ伴フ外國為
 替ノ管理ニ關スル事務並ニ雜品工業ニ關スル
 事務ヲ、工務局ニ於テハ機械器具、窯業及化學
 工業品ニ關スル事務並ニ度量衡及計量ニ關スル

事務ヲ、纖維局ニ於テハ纖維工業品ニ關スル事務
 ヲ、鑛山局ニ於テハ鑛物及金屬ニ關スル事務並ニ
 鑛山一般ニ關スル事務ヲ、燃料局ニ於テハ石炭亞
 炭、ガス、コークス及液體燃料並ニアルコール及石
 油ノ專賣ニ關スル事務ヲ、電力局ニ於テハ電氣
 及發電水力ニ關スル事務ヲ夫々掌ルモノトス(第三)

第條九乃至)

(三)同省ニ中央度量衡檢定所及同支所等ヲ燃料

局ニ酸酵研究所ヲ夫々置キ其ノ組織權限ヲ定

ム(第十條及第十一條)

(四)同省ニ書記官以下ノ常務職員並ニ參與及專

定員及

門委員ヲ置キ夫々其ノ職掌ヲ定ム(第十二條乃至第十三條)

第五 大東亞省官制及軍需省官制廢止ノ件

本件ハ大東亞省官制及軍需省官制ヲ廢止ニ並ニ

(右兩者)

併用

本令施行ノ際ニ於ケル職員ニ關シ經過的措置ヲ定

メントスルモノナリ

按ズルニ今回大東亞戰爭ノ終結ニ伴ヒ從前戰爭ノ完

遂ヲ主眼トシテ揮營セラレタル行政機構ヲ此ノ際新

區 密 記

事態ニ即應セシムルガ如ク改組スルノ必要ナルハ言フ俟
タズ而シテ本案ノ五件ハ右ノ趣意ニ基ク應急的措
置トシテ省ノ新設、廢止及改編ヲ爲サントスルモノニシ
テ毎當ノ措置ト認メラレ莫ノ他別ニ支障ノ虞ナキニ由
リ孰レモ此ノ儘之ヲ可決セラレ然ルベシト思料ス
右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和二十年八月二十四日

書記官長

議長宛

各省官制通則中改正ノ件外四件審査報告

謹デ今回御諮詢ノ各省官制通則中改正ノ件外務
省官制中改正ノ件、農商省官制中改正ノ件、商工省
官制、大東亞省官制及軍需省官制廢止ノ件ヲ審査
スルニ當局ノ説明ニ依レバ大東亞戰爭ノ今般畏クモ、聖慮ヲ

以テ非常ノ措置ニ依リ終結ニ導キカルルコトト爲リ今後政
府ニ於テハ「ポツダム」宣言ノ條項ヲ履行スルト共ニ急速
ナル國內諸般ノ復興ニ全カヲ傾注スベキコトト爲レル
ガ斯ル事態ニ對處ニ敏速ニ諸種ノ施策ヲ實施セシ
ガ爲ニハ從前戰爭完遂ヲ目途トシ編成運営ニ來レル
官廳機構ハ速ニ之ヲ新事態ニ即應スル體制ニ改編

帝國のシテ今ヤ

スルノ要アリ而シテ單ニ此ノ未曾有ノ苛烈ナル大試

ニシテ

鍊ニ耐ハ忍ブノミヲラズ更ニ進ニテ之ヲ克服シ世界ノ

帝國新生産開拓

進展ニ進レザル新日本建設ノ礎石タラシメンガ爲ニハ

根本的ニ施策ノ方向ヲ決定シ之ニ應ズルノ體制ヲ以テ

臨ムギキコト言ヲ俟タザル所ナルガ既ニ聯合國軍ノ本土

進駐ヲ目前ニ控ハ此ノ際急速ニ官廳機構ノ全面ニ互

區 密 電

相 密 電

リ根本的變改ヲ加フルコト不可能ナルニ由リ政府ニ於テ

取敢ズ必要ナル最少限度ノ改革ヲ斷行シ速ニ富面ノ

新事態ニ備フルノ體制ヲ整備スルコトシ茲ニ本案ノ

諸件ヲ以テ大東亞及軍需ノ兩省ヲ廢止スルト共ニ

シテは外務省及農林省ノ兩省ノ改稱ヲ云々

商工省ヲ新設セントス次ニ本案各件ノ要旨ヲ説明ス

レバ左ノ如シ

第一 各省官制通則中改正ノ件

本件ハ商工省ノ新設、農商省ノ改稱、大東亞軍需
兩省ノ廢止ニ伴ヒ各省官制通則中ニ所要ノ改正ヲ
施サントスルモノナリ

第二 外務省官制中改正ノ件

本件ハ大東亞省ヲ廢止シ其ノ所管事務ノ大部分ヲ

密 告

密 告

外務省ニ移管セシガ爲同省官制ニ所要ノ改正ヲ施

スコトヲ主眼トスルモノニシテ (一) 外務大臣ノ管理事務

中ニ商工大臣ニ移管スル交易關係ノ事務ヲ除ク總

テノ大東亞大臣所管事務ヲ加ヘ (一) 第一條及附 (二) 從

前外務省ニ大臣官房ノ外四局ヲ置キタルヲ五局ヲ

今日

置クコトトシ新ニ管理局ヲ設置スルト共ニ從前

ノ戦時經濟局ハ之ヲ經濟局ト改メ(第四)(三)管理局
ニ於テハ關東局及南洋廳ニ關スル事務並ニ外務大
臣ノ指定スル地域ニ於ケル在留帝國臣民及諸施設
ニ關スル事務其ノ他同地域ニ係ル事務ニシテ外務
大臣ノ指定スルモノヲ掌ラシムルコトトシ同局ニ參
事官ヲ以テ部長ニ充シル部ヲ置クコトヲ得ルモノ

機 密 院

トシ並ニ經濟局ノ所掌事務ヲ改メ(第四條第二項第
七條及新第十條)

(四)同省ニ勅任ノ參事官專任四人ヲ置キ其ノ職掌ヲ

定メ及書記官以下ノ職員ノ定員ヲ增加セ(第三條
新第十條)

一條乃至第十四條及第十五條乃至第十八條トスルモノナリ

第三 農商省官制中改正ノ件

本件ハ商工省ノ新設ニ伴ヒ農商省官制中ニ所要ノ改正ヲ施サントスルモノニシテ(一)農商省ノ名稱ヲ農林省ト改メ(二)農商大臣ノ管理事務中ヨリ商工大臣ノ管理ニ移ス事務ヲ削除シ(第一)(三)纖維局ヲ蠶絲局ニ生活物資局ヲ食品局ニ夫々改稱スルト共ニ其ノ所掌

區 答 完

樹 密 院

事務ヲ改メ(第三條、第八條及第九條)(四)書記官以下ノ職員ノ定

員ヲ減少スルコトヲ(第十三條、第十四條、第十七條、第十八條及第二十條)(五)主眼

トスルモノナリ

第四 商工省官制

本件ハ概ネ大東亞戰爭勃發前ノ商工省官制ニ復スルコトヲ目途トスルモノニシテ其ノ内容ヲ説明スレバ

次ノ如シ

(一) 商工大臣ハ商、工、鑛山、電氣及發電水力、度量衡
及計量並ニアルコト及石油ノ專賣ニ關スル事務
ヲ管理ス(第一)

(二) 商工省ニ總務、商務、工務、纖維、鑛山、燃料及電
力ノ七局ヲ置キ(第二) 總務局ニ於テハ所管行

相
密
院

政ノ企畫及綜合調整ニ關スル事務並ニ他ノ主管
ニ屬セザル事務ヲ、商務局ニ於テハ商一般及配
給一般ニ關スル事務、交易及交易ニ伴フ外國爲
替ノ管理ニ關スル事務並ニ雜品工業ニ關スル
事務ヲ、工務局ニ於テハ機械器具、窯業品及化學
工業品ニ關スル事務並ニ度量衡及計量ニ關スル

事務ヲ纖維局ニ於テハ纖維工業品ニ關スル事務
ヲ、鑛山局ニ於テハ鑛物及金屬ニ關スル事務並ニ
鑛山一般ニ關スル事務ヲ、燃料局ニ於テハ石炭亞
炭、ガス、コークス及液體燃料並ニアルコール及石
油ノ專賣ニ關スル事務ヲ、電力局ニ於テハ電氣
及發電水力ニ關スル事務ヲ夫々掌ルモノトス(第三

條)

州 密

第九條至)

(三) 同省ニ中央度量衡檢定所及同支所等ヲ、燃料
局ニ酸酵研究所ヲ夫々置キ其ノ組織權限ヲ定

ム(第十條及第十一條)

(四) 同省ニ書記官以下ノ常務職員並ニ參與及專

定員及

門委員ヲ置キ夫々其ノ職掌ヲ定ム(第十二條乃至第十三條)

第五 大東亞省官制及軍需省官制廢止ノ件

本件ハ大東亞省官制及軍需省官制之廢止ニ並ニ

(右兩者) 一併

本令施行ノ際ニ於ケル職員ニ關シ經過的措置ヲ定

メントスルモノナリ

按ズルニ今回大東亞戦争ノ終結ニ伴ヒ従前戦争ノ完

遂ヲ主眼トシテ揮營セラレタル行政機構ヲ此ノ際新

閣議院

事態ニ即應セシムルガ如ク改組スルノ必要ナルハ言ヲ俟

タズ而シテ本案ノ五件ハ右ノ趣意ニ基ク應急的措

置トシテ省ノ新設、廢止及改稱ヲ爲サントスルモノニシ

テ毎當ノ措置ト認メラレ其ノ他別ニ支障ノ虞ナキニ由

リ孰レモ此ノ儘之ヲ可決セラレ然ルズモト思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

昭和二十年八月二十四日

書記官長

議長宛

昭和二十年八月二十四日